



2019年3月期決算説明 業績の実績・見通し

株式会社 ミマキエンジニアリング

2019年5月

Mimaki
3D Printer **3DUJ-553**



UCJV300-130



UJF-6042 MkII



(2018年7月発売)



JFX200-2513 EX



(2019年5月発売)



TS55-1800



(2019年3月発売)



本日の内容

- ❖ 2019年3月期連結業績 実績
- ❖ 2020年3月期連結業績 見通し
- ❖ 成長戦略と重点施策
- ❖ 参考資料

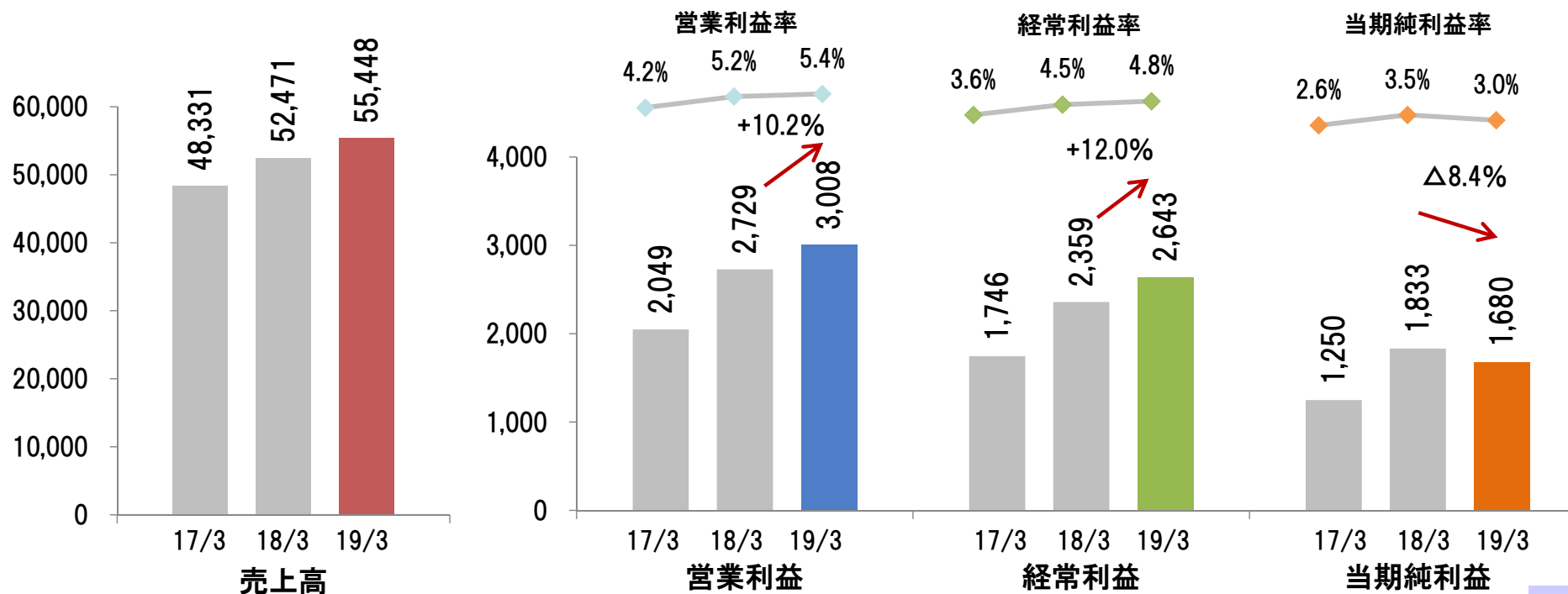


❖ 2019年3月期連結業績 実績



連結業績ハイライト (2019年3月期)

(単位:百万円)	2018年3月期(FY17)		2019年3月期(FY18)			
	実績	売上比	実績	売上比	前年同期増減率	為替影響除く前年増減率
■ 売上高	52,471	100.0%	55,448	100.0%	5.7%	7.9%
■ 営業利益	2,729	5.2%	3,008	5.4%	10.2%	36.0%
■ 経常利益	2,359	4.5%	2,643	4.8%	12.0%	
■ 当期純利益 <small>親会社株主に帰属する</small>	1,833	3.5%	1,680	3.0%	△8.4%	
為替 米ドル	110.86円	-	110.91円	-	0.0%	-
(期中平均) ユーロ	129.70円	-	128.40円	-	△1.0%	-



営業利益増減要因 (18/3期 実績 vs 19/3期 実績)

(単位:百万円)

【通貨別影響額】

USD/110.86円 → 110.91円	2
EUR/129.70円 → 128.40円	△118
TRY/30.21円 → 21.55円	△253
BRL/34.47円 → 29.34円	△250
その他(INR、AUD、IDR等)	△85
合計	△704

【売上・原価・営業利益への為替影響】

売上高△1,158 - 売上原価△188 - 販管費△266 = 営業利益△704

販管費増加の要因 (対売上構成比)

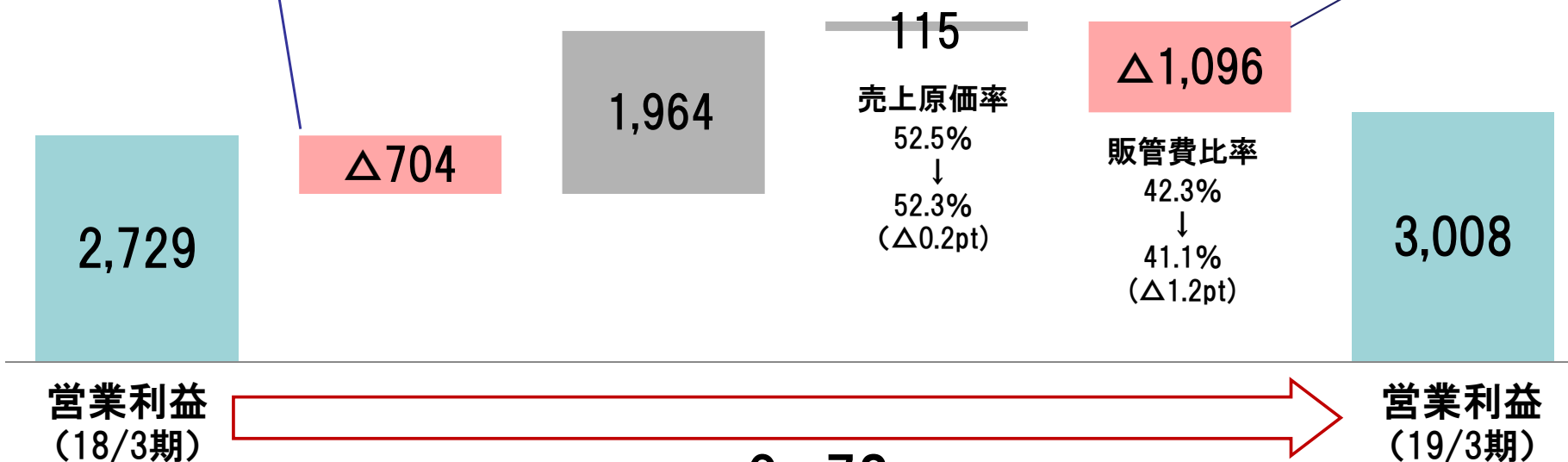
- ①人件費+656
(0.0pt:16.2%→16.2%)
 - ②賃借料+129
(0.0pt:2.5%→2.5%)
 - ③運搬費+122
(+0.1pt:2.3%→2.4%)
 - ④支払手数料+122
(0.0pt:2.6%→2.6%)
 - ⑤その他 +67
(△1.3pt:18.7%→17.4%)
- 合計+1,096
(△1.2pt:42.3%→41.1%)

①為替影響額

②増収効果
(為替影響除く)

③売上原価率
改善
(為替影響除く)

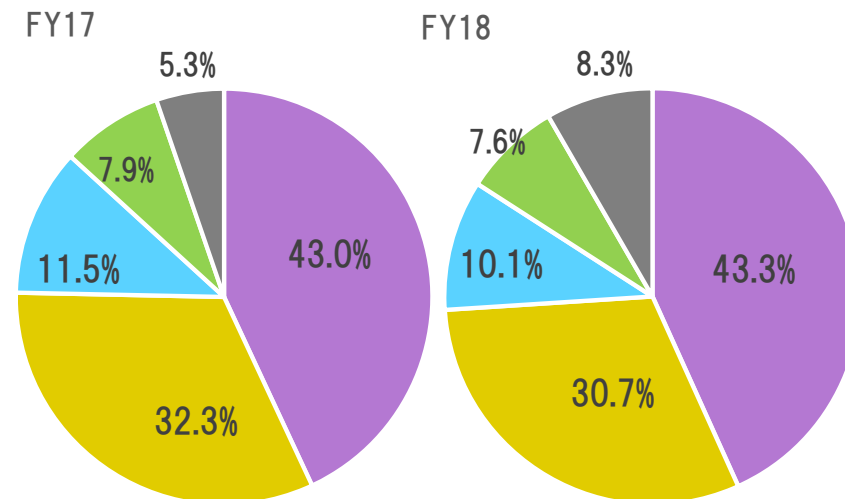
④販管費増加
(為替影響除く)



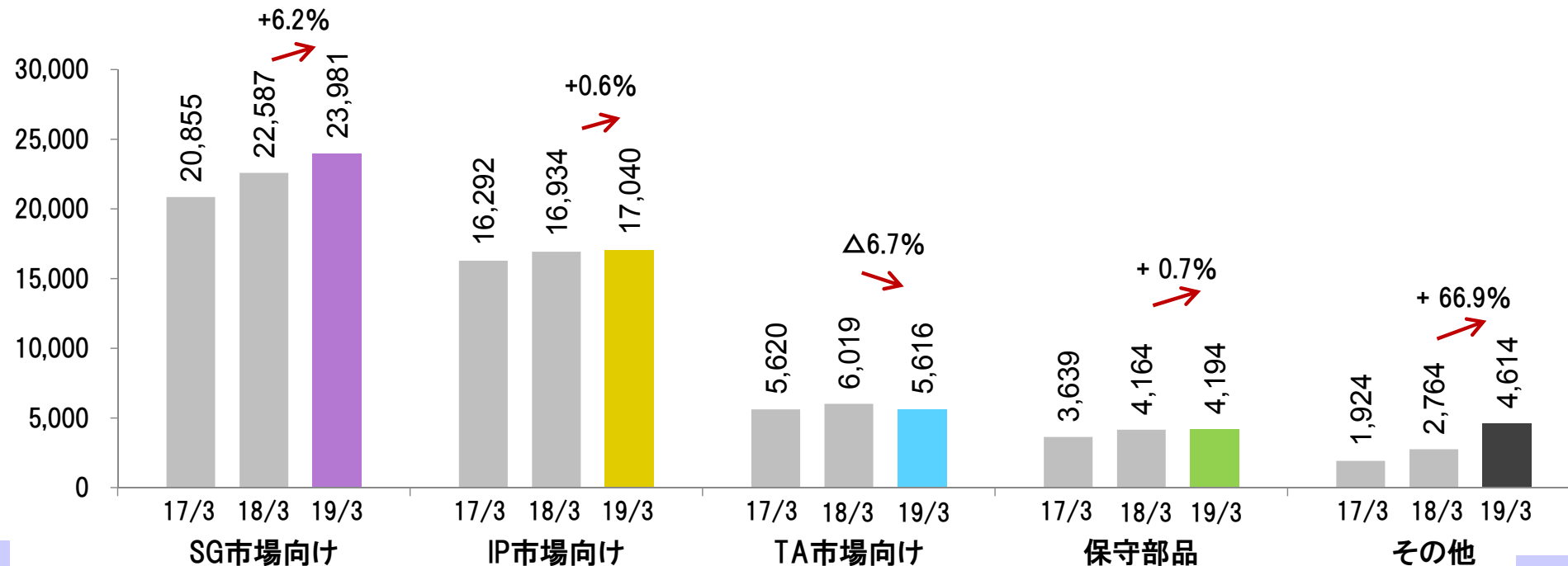
市場別売上高 (2019年3月期)

(単位:百万円)	2018年3月期 (FY17)	2019年3月期 (FY18)		
	実績	実績	前年同期 増減率	為替影響除く 前年増減率
SG市場向け	22,587	23,981	6.2%	8.7%
IP市場向け	16,934	17,040	0.6%	2.1%
TA市場向け	6,019	5,616	△6.7%	△3.3%
保守部品	4,164	4,194	0.7%	
その他※	2,764	4,614	66.9%	
合計	52,471	55,448	5.7%	7.9%

構成比率



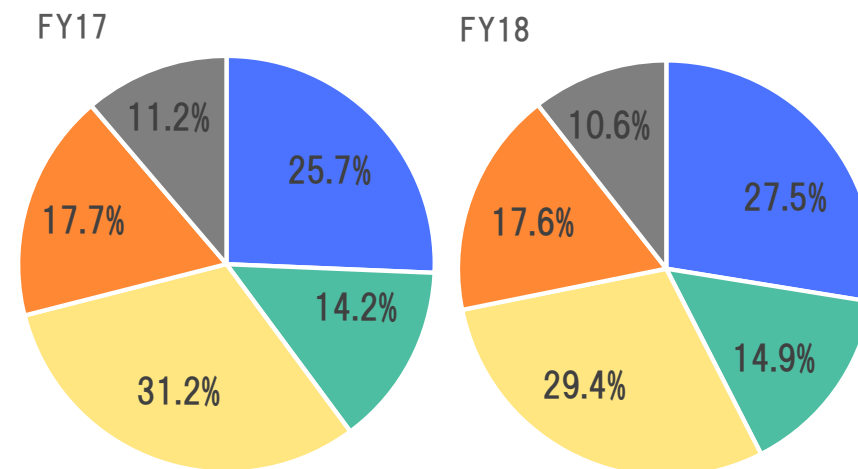
※ その他の増減率が+66.9%と大きいのはアルファードesignの事業の売上高が第4四半期に加算されたため(これを除くと+7.3%)。



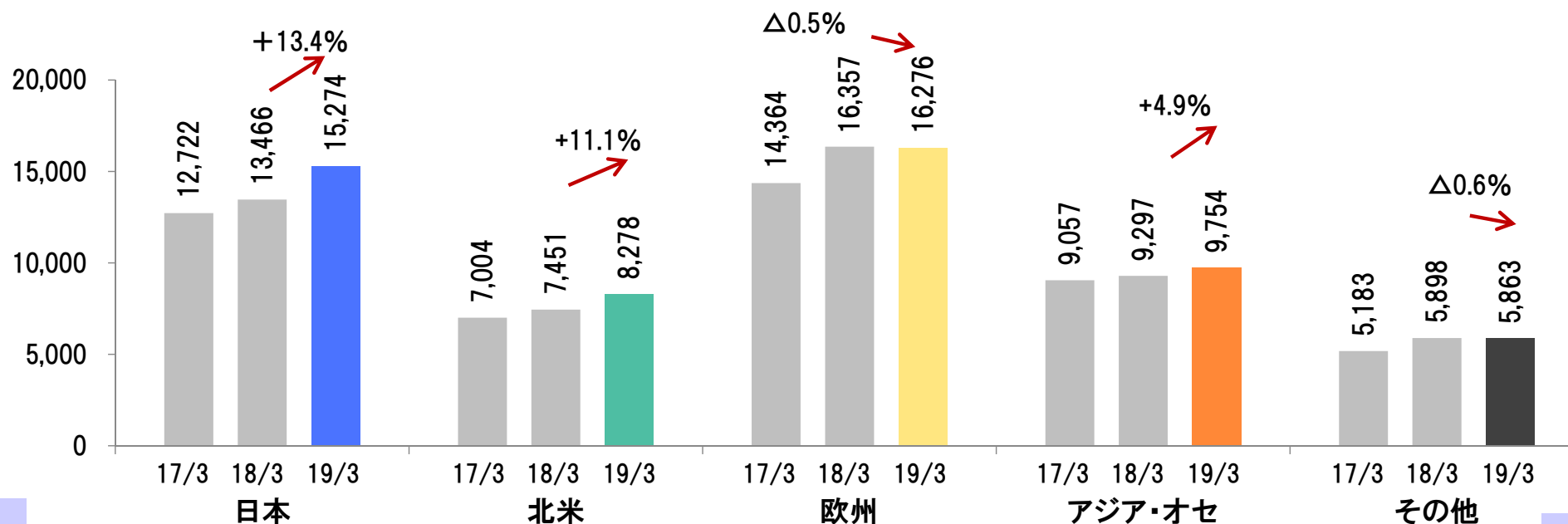
エリア別売上高 (2019年3月期)

(単位:百万円)	2018年3月期 (FY17)	2019年3月期 (FY18)		
	実績	実績	前年同期 増減率	為替影響除く 前年増減率
■ 日本 ※	13,466	15,274	13.4%	13.4%
■ 北米 (現地通貨/\$)	7,451 (67.2M)	8,278 (74.6M)	11.1%	11.0%
■ 欧州 (現地通貨/€)	16,357 (126.1M)	16,276 (126.7M)	△0.5%	0.5%
■ アジア・オセ	9,297	9,754	4.9%	7.0%
■ その他	5,898	5,863	△0.6%	
合計	52,471	55,448	5.7%	7.9%

構成比率



※ 日本の増減率が+13.4%と大きいのはアルファーデザインの事業の売上高が第4四半期に加算されたため(これを除くと+1.2%)。



要約貸借対照表

(2019年3月31日現在)

(単位:百万円)		2018年 3月31日	2019年 3月31日	増減額	増減率
資産の部	現金及び預金	11,529	11,994	464	4.0%
	受取手形及び売掛金(※1)	9,773	10,475	702	7.2%
	たな卸資産	16,337	18,023	1,685	10.3%
	その他流動資産	1,520	1,628	108	7.1%
	流動資産合計	39,161	42,121	2,959	7.6%
	有形固定資産	9,248	10,724	1,475	16.0%
	無形固定資産	2,354	2,398	43	1.9%
	投資その他の資産	3,229	3,219	△10	△0.3%
	固定資産合計	14,832	16,341	1,509	10.2%
	合計	53,994	58,463	4,468	8.3%
負債・純資産の部	支払手形及び買掛金(※1)	8,674	8,352	△322	△3.7%
	短期借入金(※2)	11,483	13,670	2,186	19.0%
	その他流動負債	7,131	6,869	△262	△3.7%
	流動負債合計	27,289	28,891	1,602	5.9%
	長期借入金	8,237	9,564	1,327	16.1%
	その他固定負債	689	996	306	44.5%
	固定負債合計	8,926	10,560	1,634	18.3%
	負債合計	36,216	39,452	3,236	8.9%
純資産合計	17,778	19,010	1,232	6.9%	
合計	53,994	58,463	4,468	8.3%	

❖ 資産の部

- ・ たな卸資産(+1,685M)
- ・ 有形固定資産(+1,475M)
→業容拡大&
アルファーデザイングループ
子会社化の影響

❖ 負債の部

- ① 支払手形及び買掛金(△322M)
→前期末休日の影響
- ② 短期借入金(+2,186M)
→アルファーデザイングループ
子会社化の影響
- ③ 長期借入金(+1,327M)
→アルファーデザイングループ
子会社化の影響

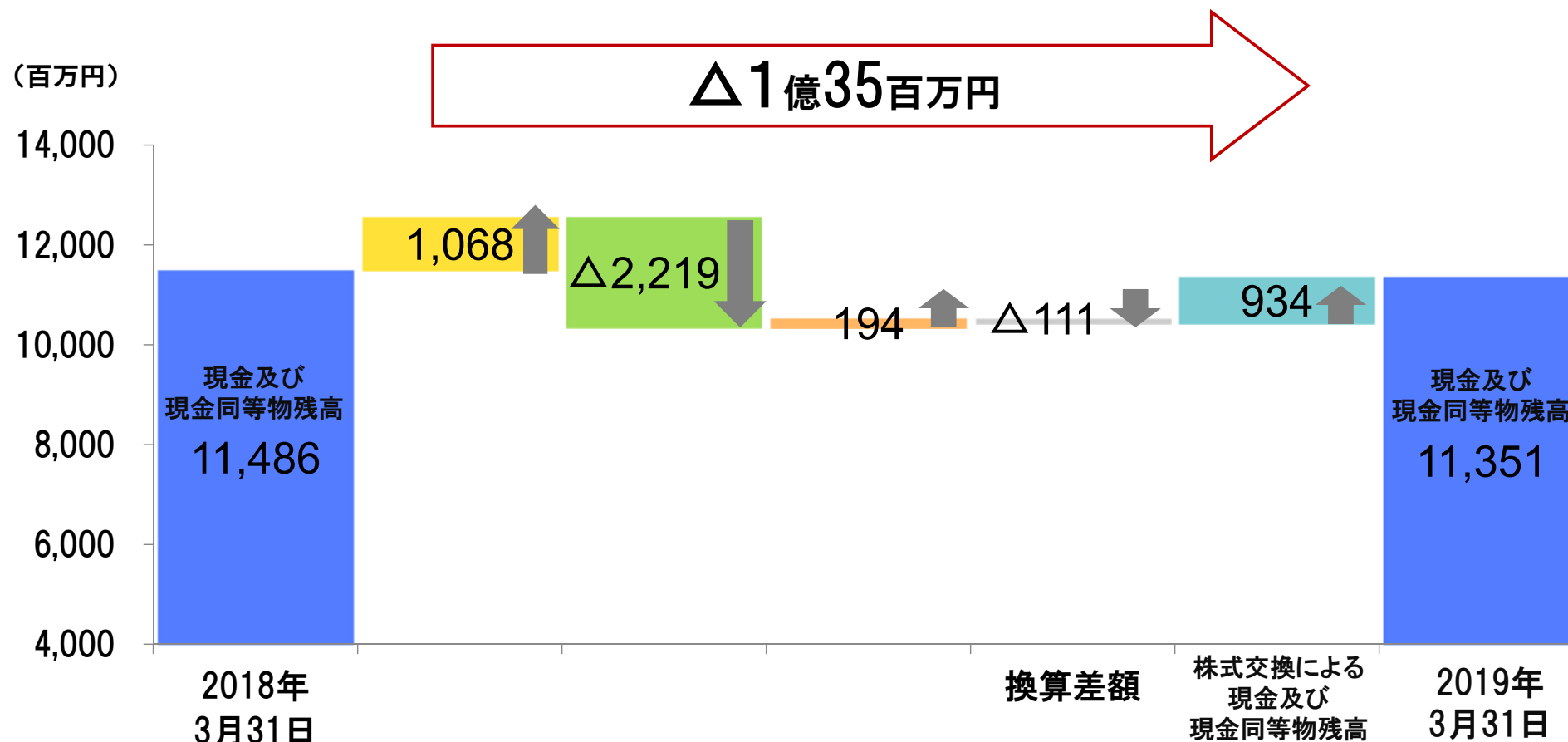
❖ 純資産の部

- ・ 利益剰余金(+1,231M)

(※1)電子記録債権、電子記録債務を含む

(※2)1年内返済予定長期借入金を含む

キャッシュ・フロー (2019年3月期)



営業キャッシュ・フローの状況

EBITDA(※)	5,076
運転資金増加	△ 2,399
税金、利払等	△ 1,609
合計	1,068

(※) 利払前、税払前、償却前の営業利益

投資キャッシュ・フローの状況

固定資産の取得(※)	△ 1,826
固定資産等の売却	35
その他	△ 428
合計	△ 2,219

(※) 欧州インク工場、基幹システム、デモ機等

財務キャッシュ・フローの状況

短・長期借入金収支	893
配当金	△ 449
その他	△ 249
合計	194

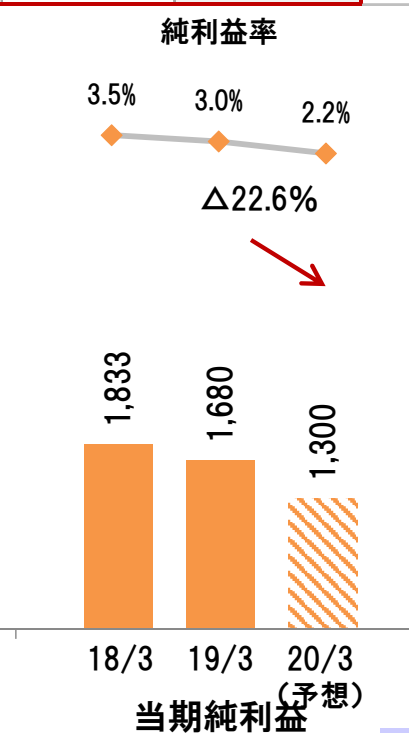
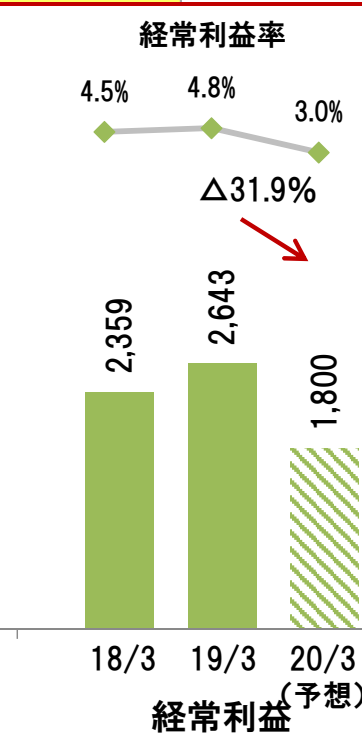
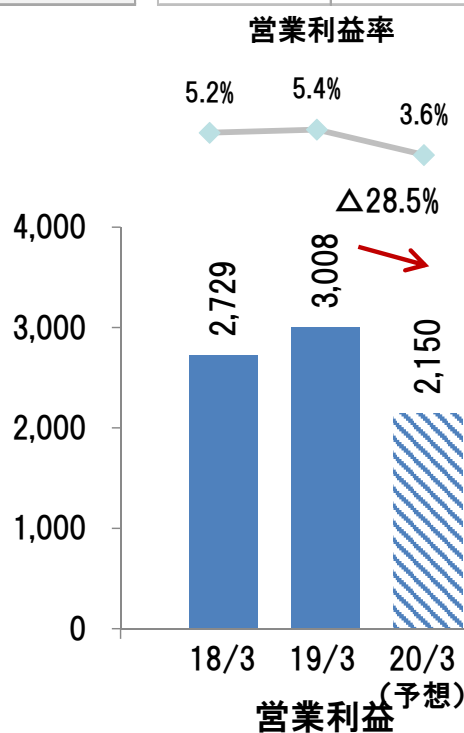
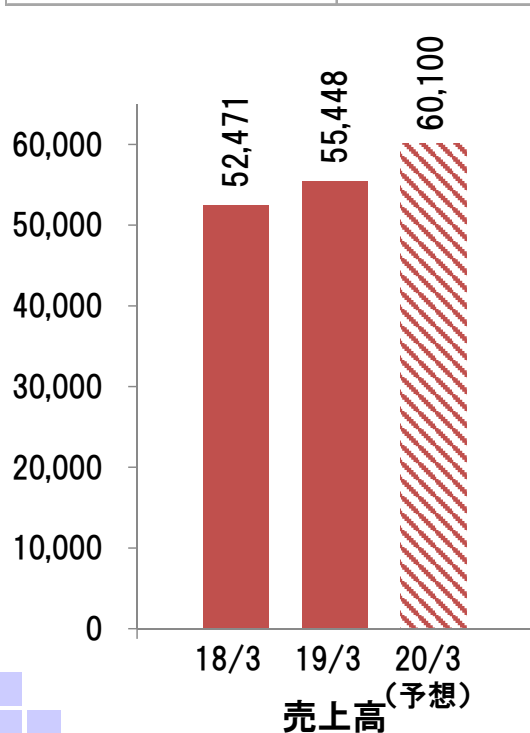
❖ 2020年3月期連結業績 見通し



連結業績予想ハイライト (2020年3月期)

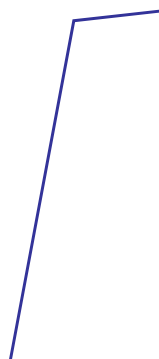


(単位:百万円)	2019年3月期 (FY18)		2020年3月期(FY19)						
	通期	売上比率	上期	下期	通期	増減額	増減率	売上比率	為替影響除く 前年増減率
■ 売上高	55,448	100.0%	28,950	31,150	60,100	4,651	8.4%	100.0%	11.0%
■ 営業利益	3,008	5.4%	800	1,350	2,150	△858	△28.5%	3.6%	4.8%
■ 経常利益 <small>親会社株主に帰属する</small>	2,643	4.8%	650	1,150	1,800	△843	△31.9%	3.0%	
■ 当期純利益	1,680	3.0%	450	850	1,300	△380	△22.6%	2.2%	
為替 米ドル (期中平均)	110.91円	-	-	-	107.00円	△3.91円	△3.5%	-	-
ユーロ	128.40円	-	-	-	122.00円	△6.40円	△5.0%	-	-



営業利益増減要因 (19/3期実績 vs 20/3期計画)

(単位:百万円)



【通貨別影響額】

USD/110.91円 → 107.00円	△242
EUR/128.40円 → 122.00円	△625
CNY/ 16.54円 → 16.70円	△47
その他(AUD、BRL等)	△88
合計	△1,002

<為替感応度(1円/年)>		
	売上高	営業利益
USD	115	62
EUR	140	97

【売上・原価・営業利益への為替影響】

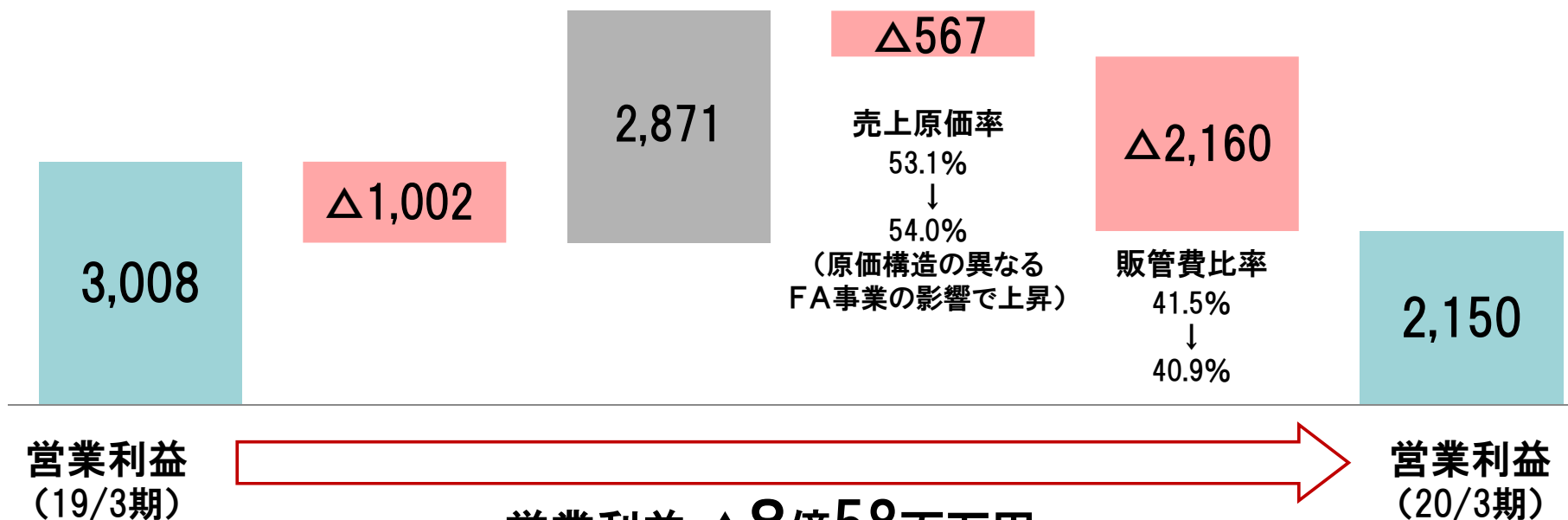
売上高△1,463－売上原価△152－販管費△309 = 営業利益△1,002

①為替影響額

②増収効果
(為替影響除く)

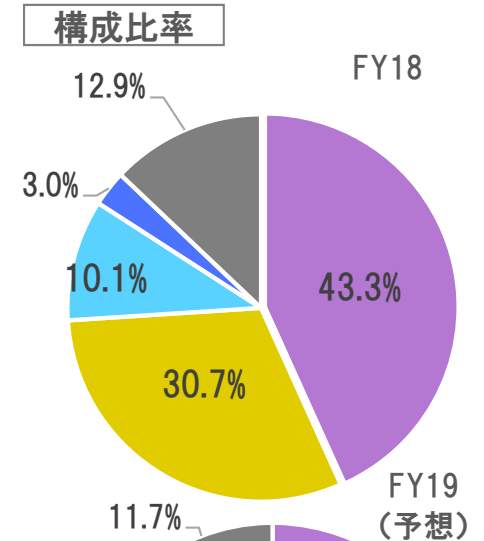
③売上原価率
悪化
(為替影響除く)

④販管費増加
(為替影響除く)

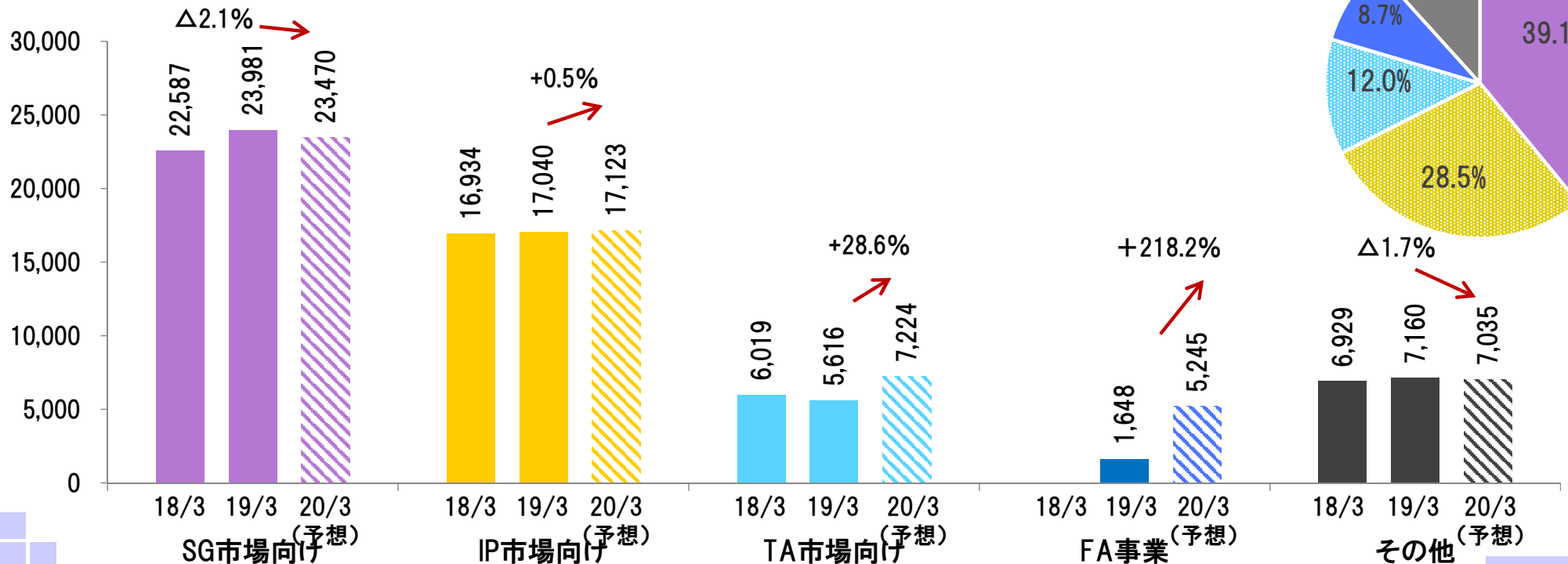


市場別売上高予想 (2020年3月期)

(単位:百万円)	2019年3月期 (FY18)	2020年3月期(FY19)						為替影響除く 前年増減率
	通期	上期	下期	通期	増減額	増減率		
SG市場向け	23,981	11,294	12,175	23,470	△ 511	△ 2.1%	0.5%	
IP市場向け	17,040	8,119	9,004	17,123	82	0.5%	3.1%	
TA市場向け	5,616	3,375	3,848	7,224	1,607	28.6%	32.6%	
FA事業※	1,648	2,595	2,650	5,245	3,597	218.2%	218.2%	
その他	7,160	3,563	3,471	7,035	△ 124	△ 1.7%		
合計	55,448	28,950	31,150	60,100	4,651	8.4%	11.0%	



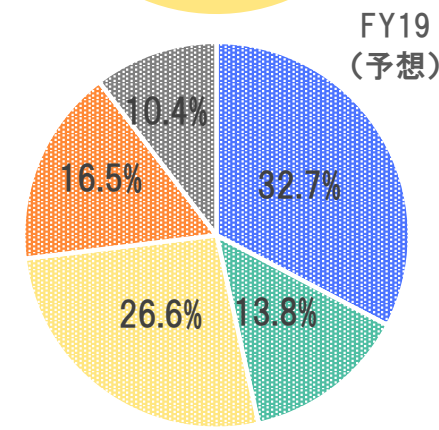
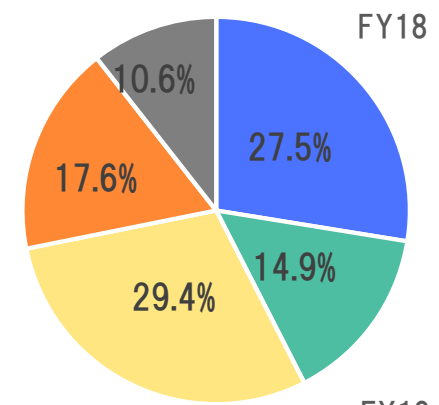
※ FA事業とは、アルファデザイングループを母体とした事業の総称。
 具体的には、ファクトリーオートメーション(FA)装置や防湿剤・半導体等実装装置・金属加工業の開発・製造・販売。



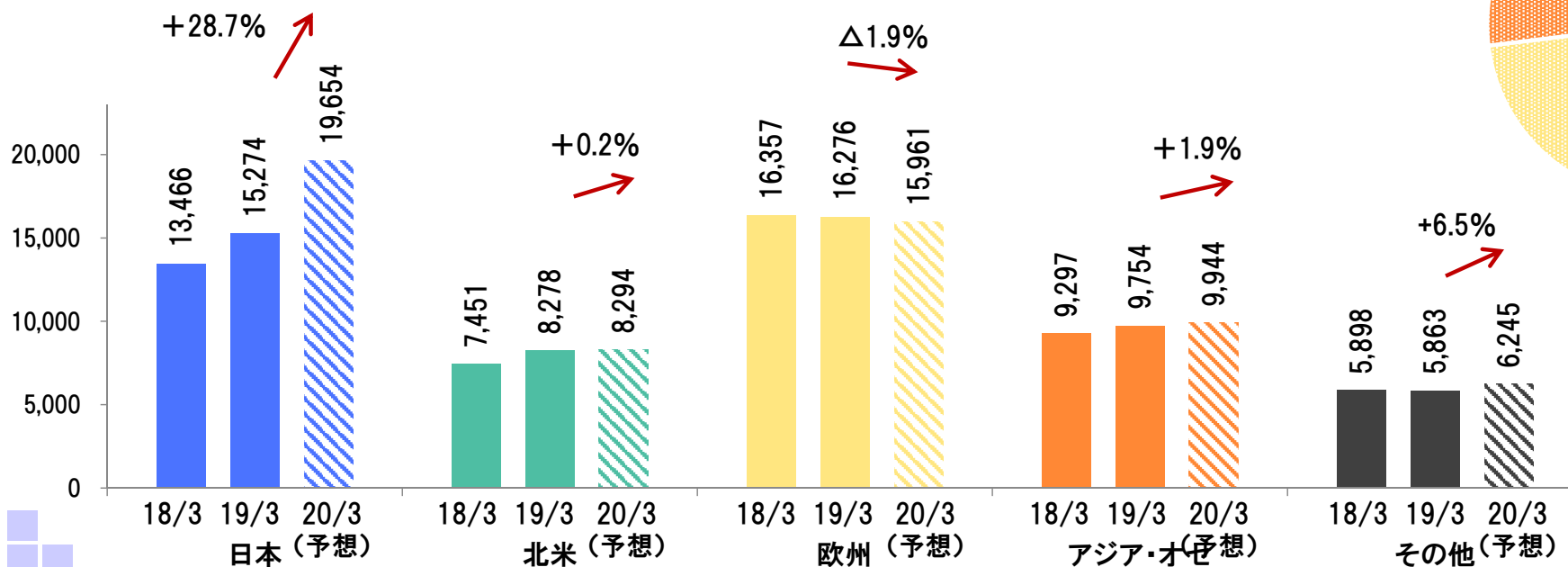
エリア別売上高予想 (2020年3月期)

(単位:百万円)	2019年3月期 (FY18)	2020年3月期(FY19)					為替影響除く 前年増減率
	通期	上期	下期	通期	増減額	増減率	
■ 日本	15,274	9,401	10,252	19,654	4,379	28.7%	28.7%
■ 北米 (現地通貨/\$)	8,278 (74.6M\$)	3,968 (37.0M\$)	4,325 (40.4M\$)	8,294 (77.5M\$)	15 (2.8M\$)	0.2%	3.8%
■ 欧州 (現地通貨/€)	16,276 (126.7M€)	7,643 (62.6M€)	8,318 (68.1M€)	15,961 (130.8M€)	△ 315 (4.0M€)	△ 1.9%	3.2%
■ アジア・オセ	9,754	4,813	5,131	9,944	189	1.9%	1.9%
■ その他	5,863	3,122	3,122	6,245	381	6.5%	
合計	55,448	28,950	31,150	60,100	4,651	8.4%	11.0%

構成比率

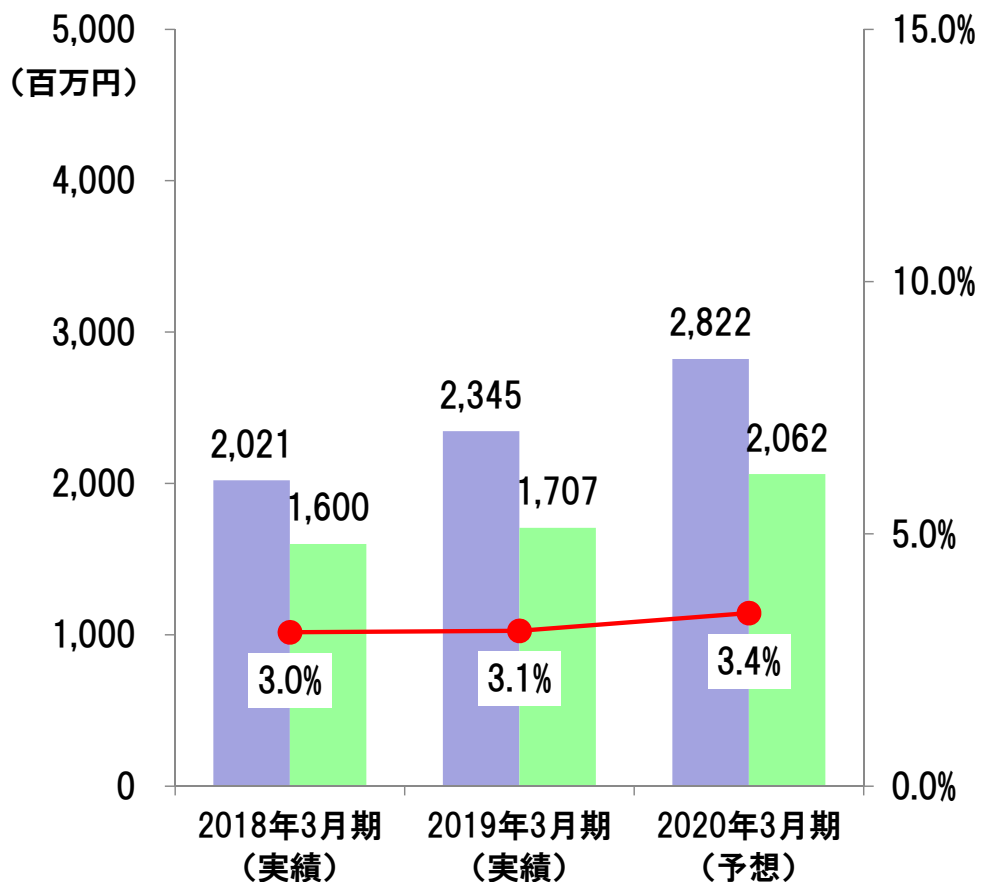


※日本の増減率が+28.7%大きいのはFA事業が通年加算されるため(これを除くと+5.1%)。

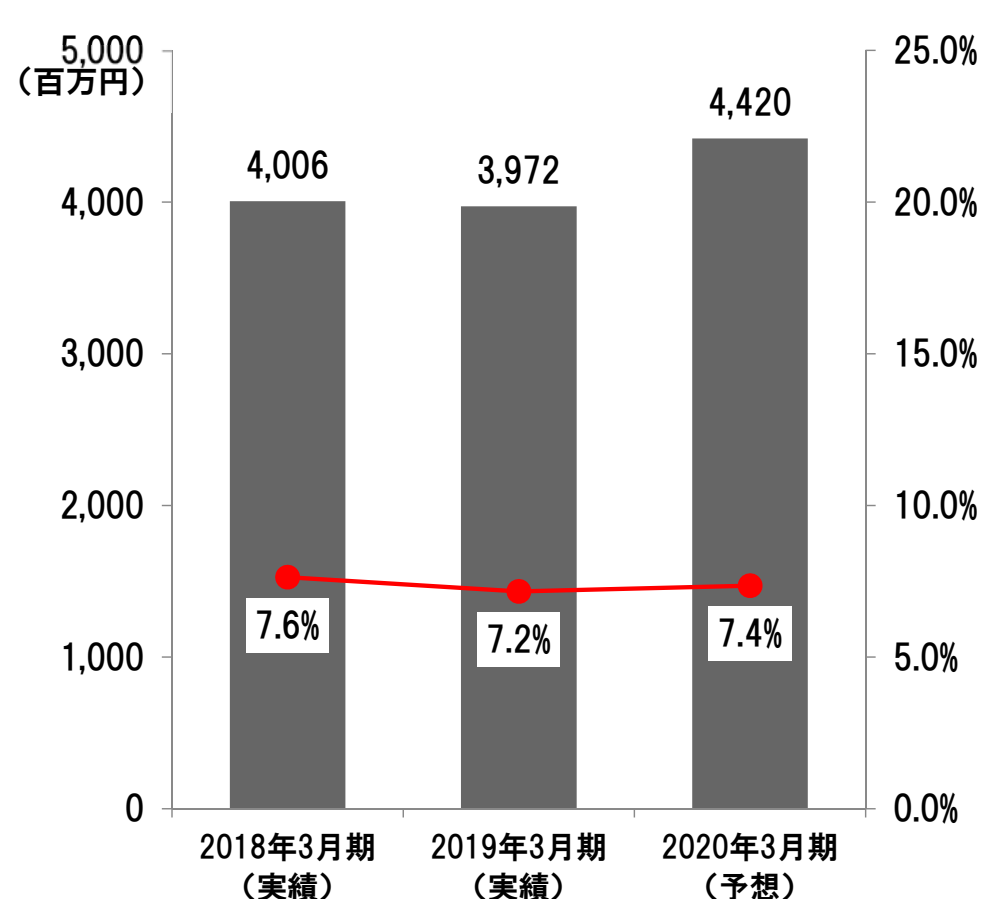


設備投資、減価償却、開発投資予想

■ 設備投資 ■ 減価償却費 ● 減価償却費対売上比率



■ 開発投資 ● 対売上比率



※ 主な設備投資計画(2020年3月期)

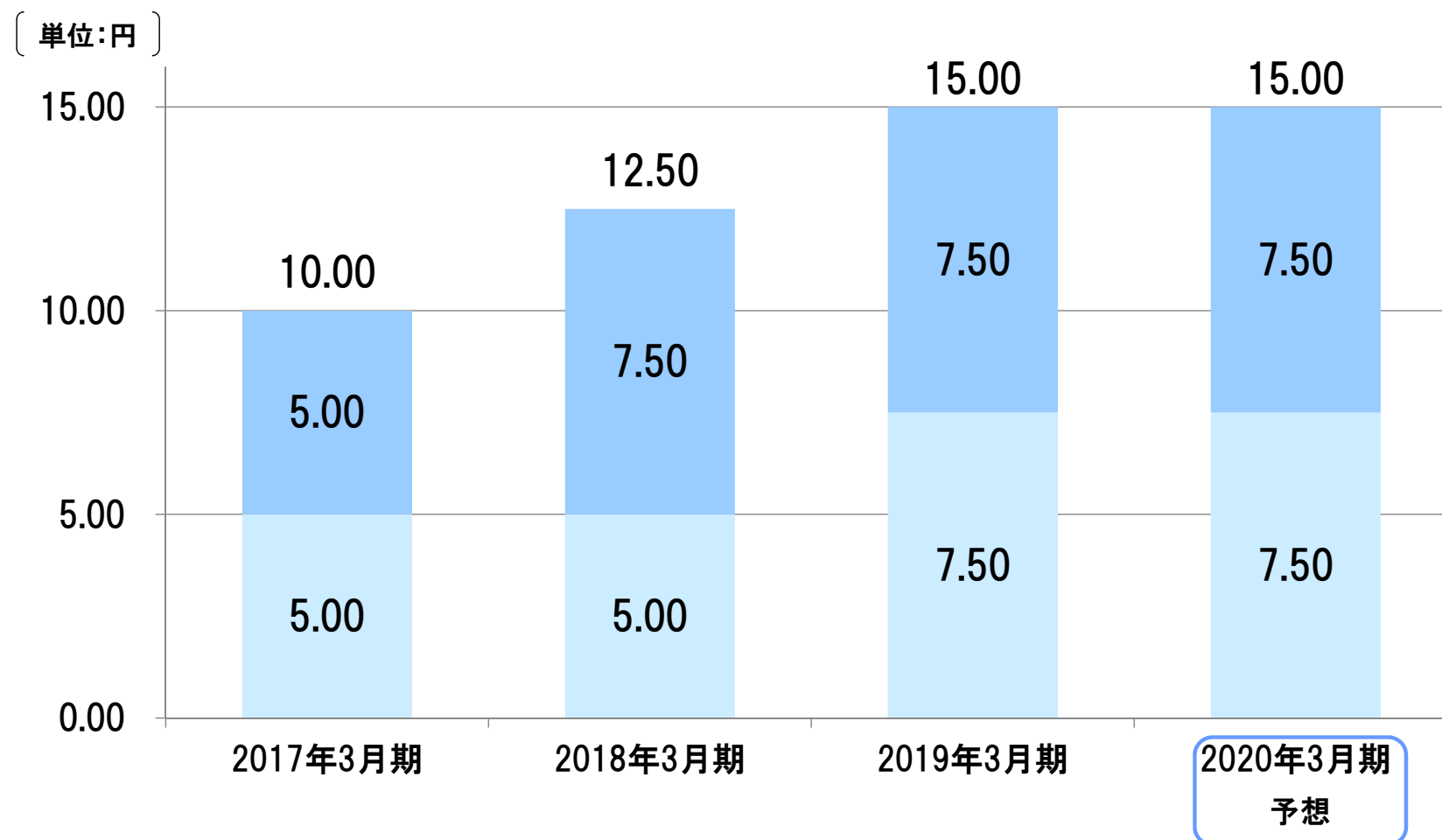
- 機械装置(主にインク生産用) 6億69百万円
- ソフトウェア・基幹システム 4億65百万円
- デモ機 4億45百万円

※ 上記の金額は、研究開発活動に係る費用の総額を示すもので、既存製品の改良、応用等に関する費用が含まれております。
各会計年度の販管費における「研究開発費」は、18/3期23億30百万円、19/3期23億79百万円、20/3月期(予想)20億77百万円です。

配当予想 (2020年3月期・予想)

配当方針

業績の成長に見合った成果の配分を、安定的かつ継続的に行っていくことを基本方針としております。



❖ 成長戦略と重点施策



1. 中長期ビジョン:M1000 3.0

(単位:億円)

年間売上成長率
5~10%

1,000

その他
(保守部品、その他)

✓ 保守部品・周辺事業の
拡大

100
Factory Automation
(FA/搬送装置他)

(FA事業)
✓ ニッチトップをグロー
バル展開

200
Textile & Apparel
(TA/布地・衣料品)

(TA市場)
✓ デジタルトランス
フォーメーション提
案

300
Industrial Products
(IP/工業製品・小物類、3D)

(IP市場)
✓ ライン組入れ等
で市場拡大

400
Sign Graphics
(SG/広告・看板)

(SG市場)
✓ 環境に優しい製
品・インクでシェ
ア拡大

466

46

57

125

237

478

49

53

146

227

483

55

56

162

208

524

69

60

169

225

554

71

16

56

170

239

601

70

52

72

171

234

4~6年後

FY2014 FY2015 FY2016 FY2017 FY2018 FY2019
(予想)

2. ビジョンステートメント

ベクター技術やラスター技術に**メカトロニクス技術**を融合させて
デジタルオンデマンド印刷・マスカスタマイゼーション・IoTを推進

ベクター技術※1



カッティングプロッタ・レーザーなど

ラスター技術※2



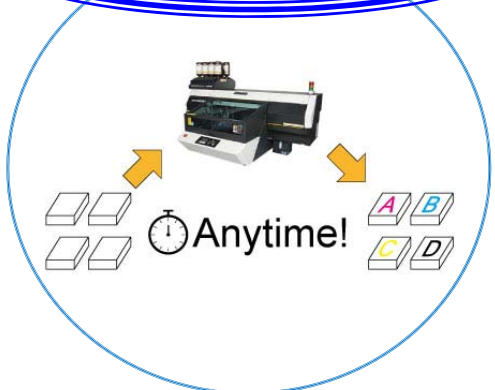
インクジェット・3Dプリンタなど

- ※1: 画像を円や直線などの解析幾何的な図形の集まりとして表現するデータ形式
- ※2: 各点の濃淡の集まりで画像を表現するデータ形式
- ※3: 機械的な微動機構と電子的な制御機構とを有機的に結合させる製品開発

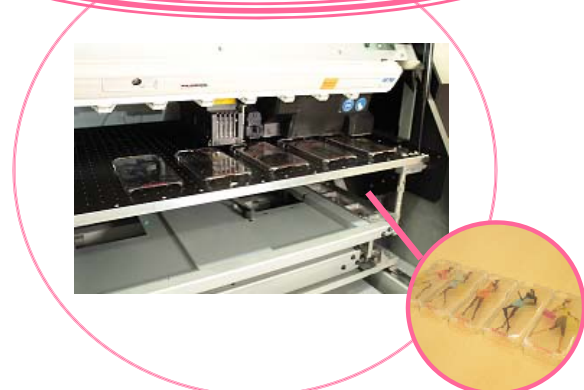
+

メカトロニクス技術※3

デジタルオンデマンド印刷



マスカスタマイゼーション



IoT



無人化
省人化



3. M1000 3.0 方針

◎デジタルトランスフォーミングを推進する

◎サステナビリティへの取組み

— 資源循環型の経営・技術に取組む

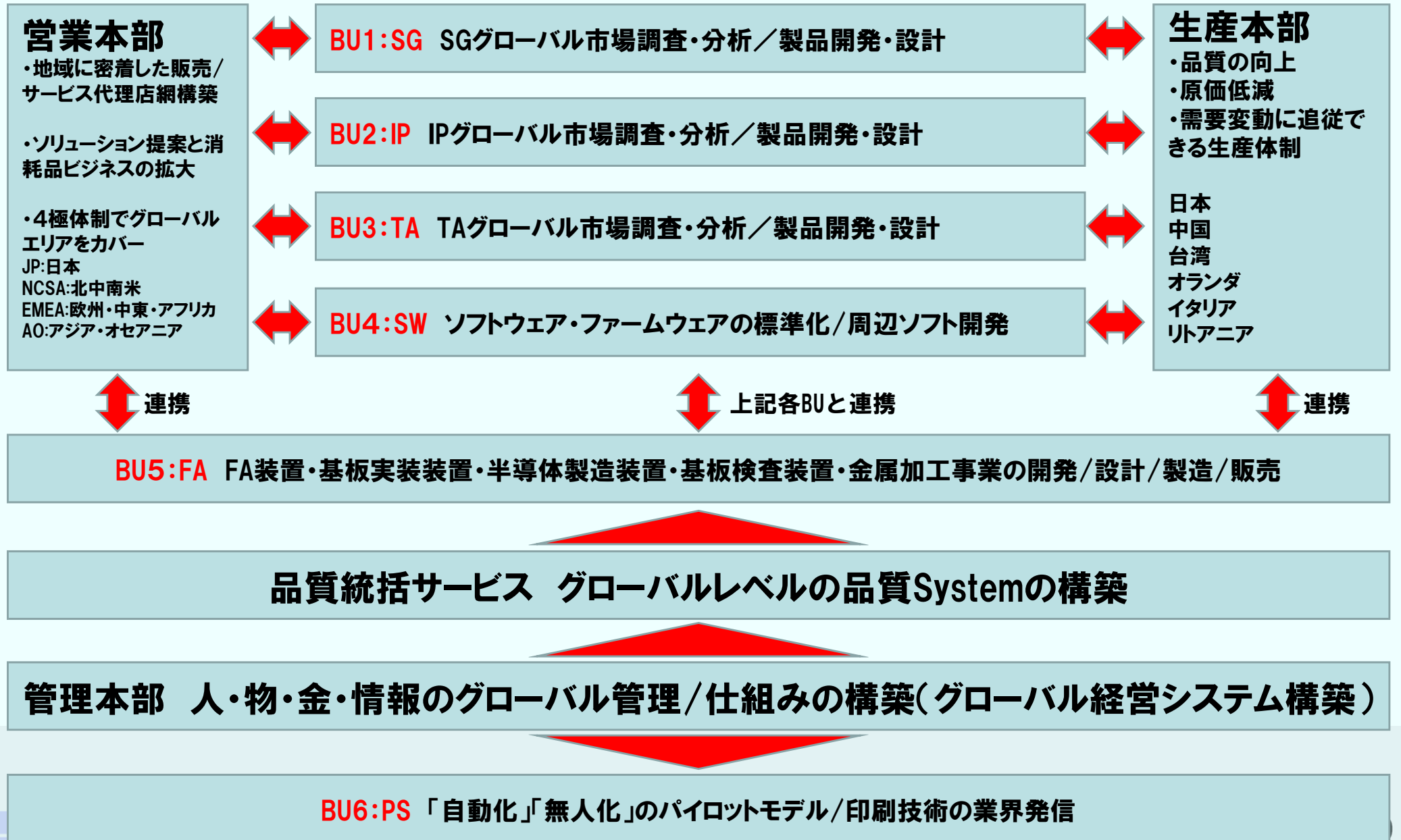
◎品質を上げる

— 品質管理を見直す

— 品質Systemを確立する

4. 6つのビジネスユニット／事業部制の導入

経営企画本部：部門別／**ユニット別**独立採算管理システム(GIPS)のグローバル運営

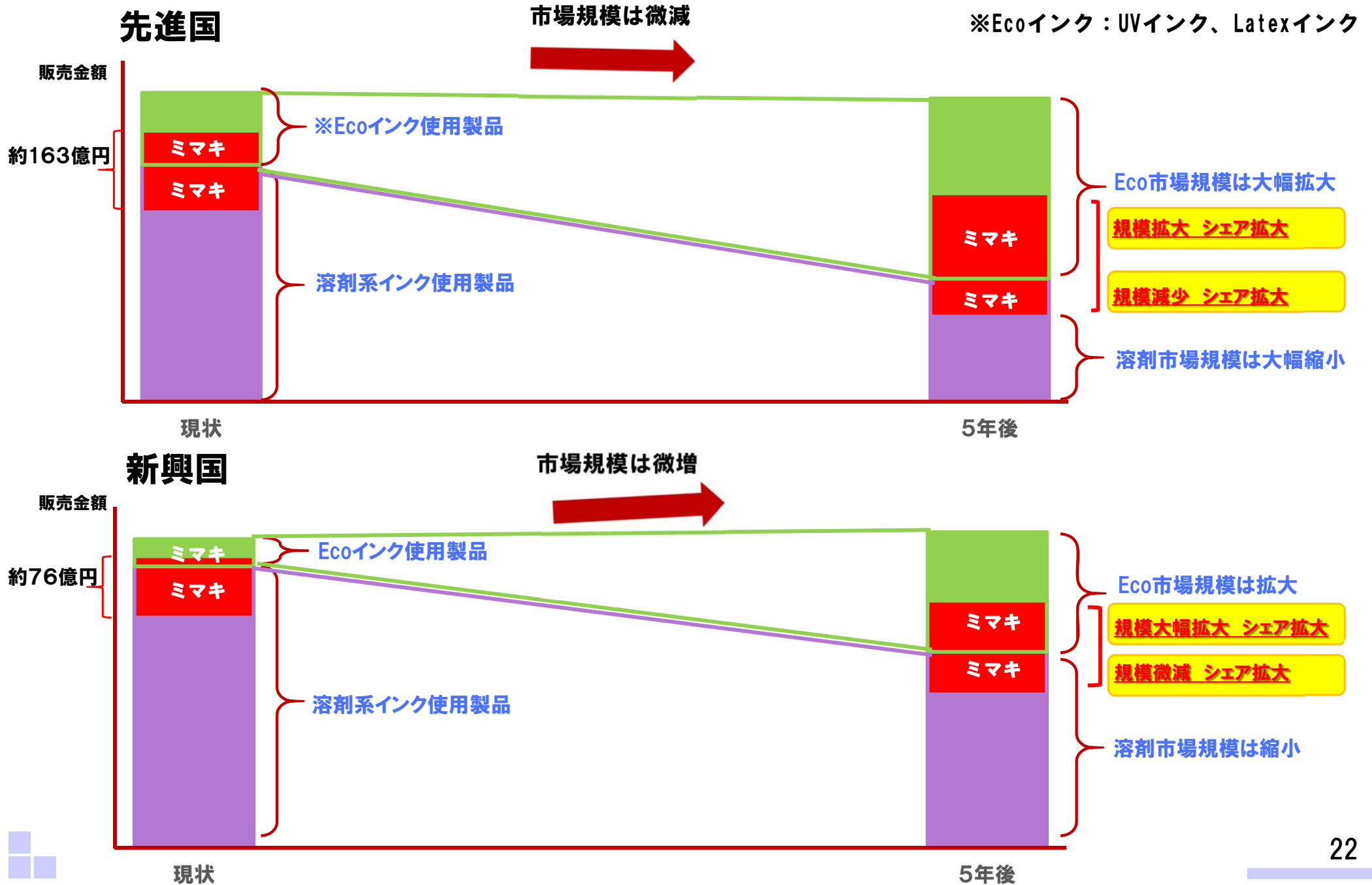




◆SG市場について



5-1. SG市場における成長イメージ



5-2. Ecoインクの特徴

- ポイント1: VOCフリー
- ポイント2: 塩ビ以外のサインメディアに印刷
- ポイント3: 環境に配慮した素材に印刷

ポイント1



インクの原料である有機溶剤成分が揮発してインクが硬化



UV照射によりインクが硬化。また、LEDで硬化するためオゾン発生原因の紫外線は不使用

ポイント2



塩ビやターポリンなどプリントメディアを限定。また、不要となり焼却処分する際に有害物質が発生する可能性有



ソルベントインクではプリントが難しいFFや、受理層が無い紙、PETフィルムといったメディアにもプリントが可能

ポイント3



塩ビやターポリンなど、プリントメディアを限定。



素材を選ばないので、環境に配慮した素材へのプリントが可能

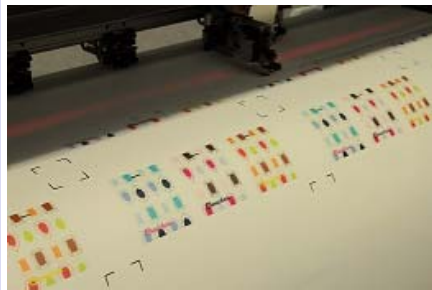
5-3.環境に優しいUVインクによるアプリケーション拡大

- ・素材を選ばないので、エンドユーザーの仕事の幅を広げる
- ・看板から内装POP／ラベル／ウインドウフィルム／壁紙などへの拡大

看板



ラベル/ステッカー



POP



ウインドウフィルム



壁紙



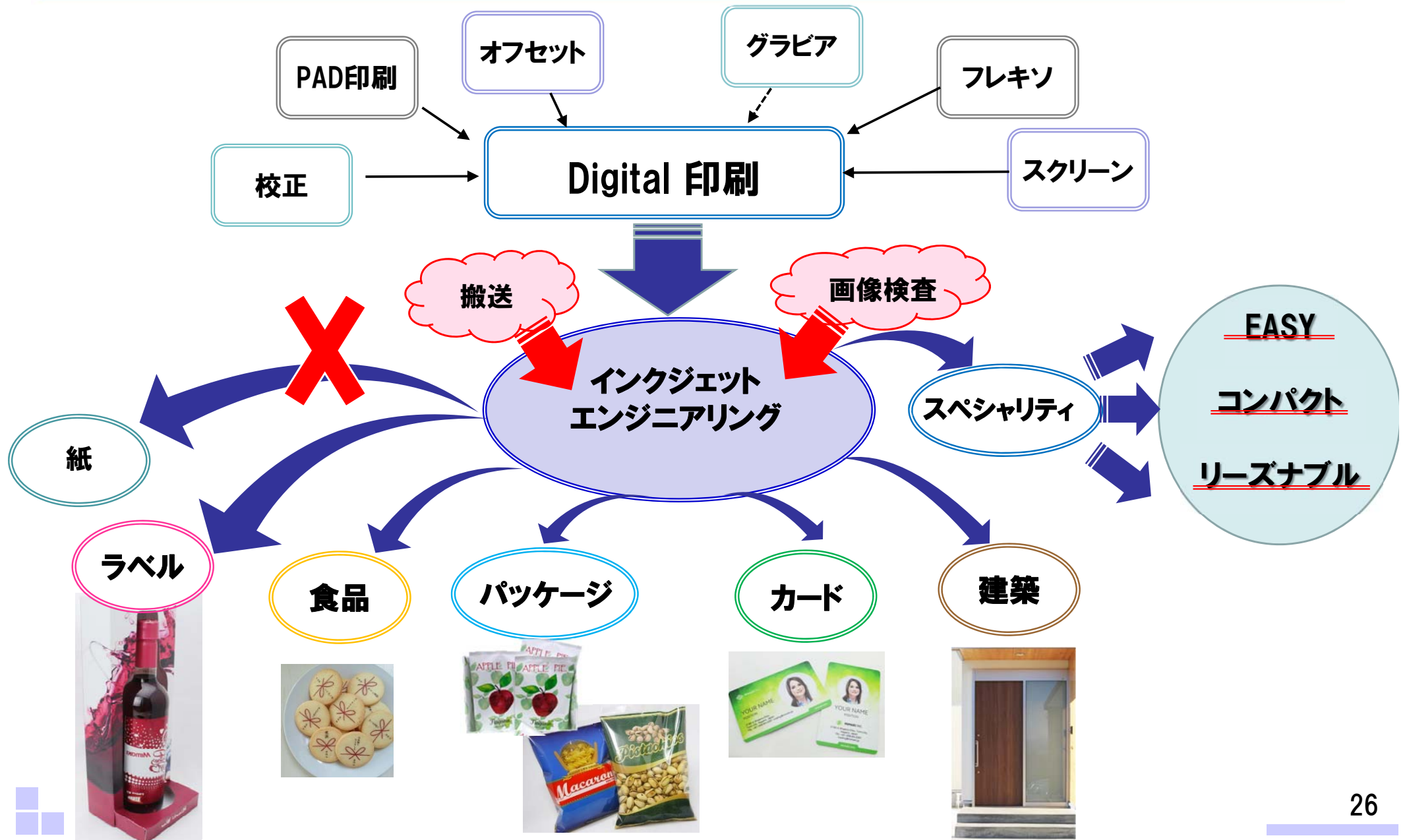


◆IP市場について



6-1.IPの今後の展開について

インクジェット技術に搬送や画像認識の要素技術が融合することでアプリケーションの拡大



6-2. 3Dの適用分野の開拓に注力

ゲーム・フィギア



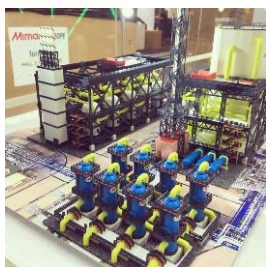
医療関連



工業・モックアップ



建築関連



化粧品関連



人物・記念品





◆TA市場について



7-1. バリューチェーンを含めたソリューション提案

生産地

インド、中国、東南アジア、南米等

- 下請け大量生産受注工場
- アナログ捺染が95%

課題

- ・高価な設備投資
- ・労務単価上昇／人材不足
- ・環境規制
- ・色合わせのノウハウ

消費地

主に先進国

- 大量生産工場は廃業／縮小傾向
- 小～中ロット生産を内製化

課題

- ・実店舗苦戦／ECサイト急成長
- ・短納期
- ・カスタマイズ製品の需要増
- ・在庫の削減

3つをつなぐ
デジタルトランスフォーメーション

ブランドオーナー

主に先進国

(ファッション、スポーツアパレル業界)

- 直営店、フランチャイズ、ライセンス工場と協業

課題

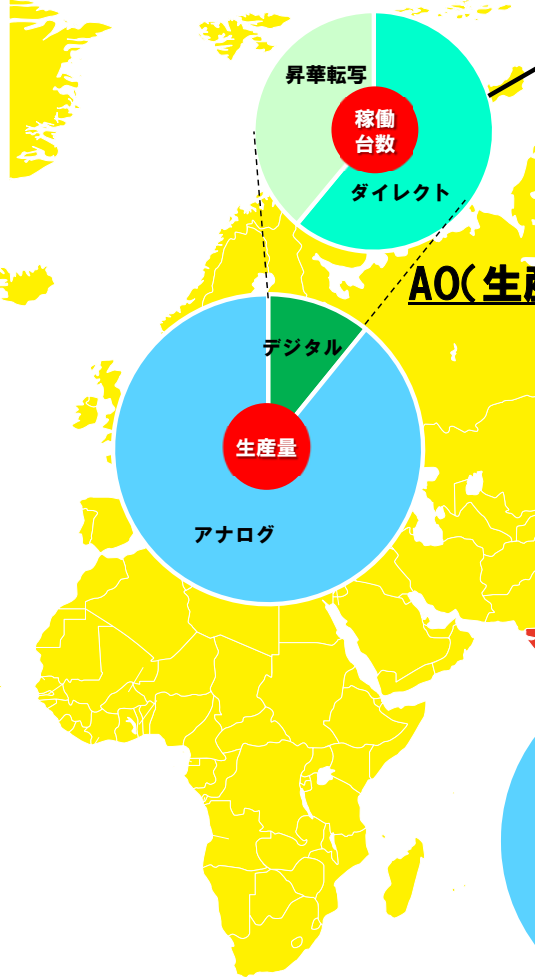
- ・水汚染／水不足への取組み
- ・多品種少量生産の短納期化
- ・在庫の削減
- ・高付加価値製品の企画



単に「アナログ」→「デジタル化」
ではなくバリューチェーンも含めた
デジタル化による生産現場の提案。

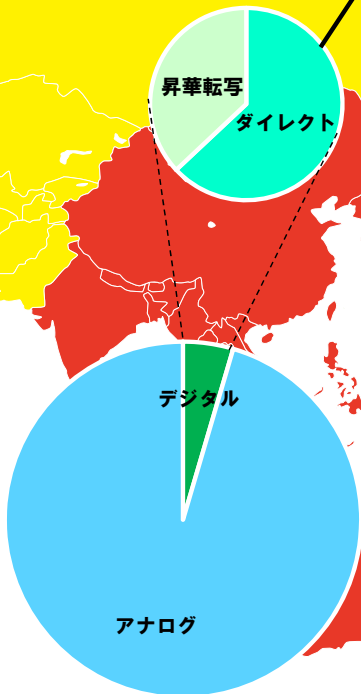
7-2. TA市場の各エリア毎の現状

EMEA(生産量規模:約31%)



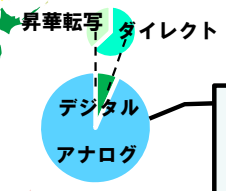
・ブランドオーナー
・消費地
が多くデジタル化が進んでいる。

AO(生産量規模:約44%)



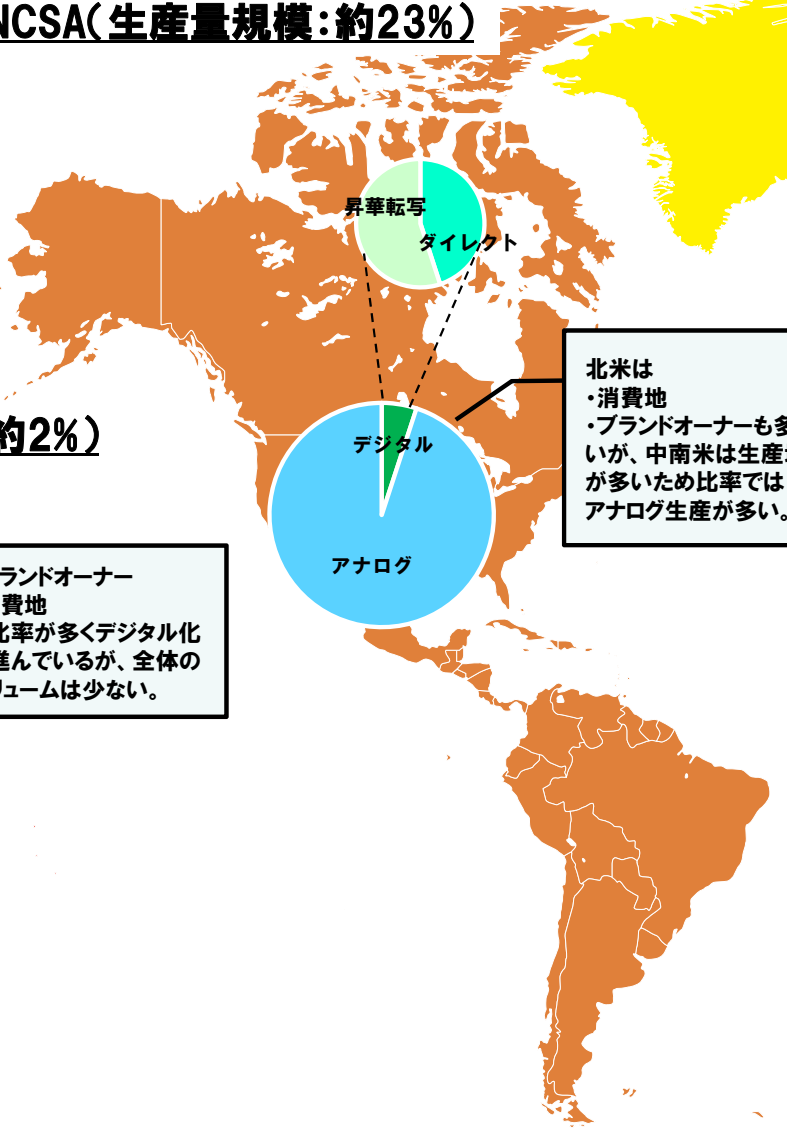
・生産地
が多く(工賃も安価)
デジタル化は他地域
よりも進んでいない。

JP(生産量規模:約2%)



・ブランドオーナー
・消費地
の比率が多くデジタル化
が進んでいるが、全体の
ボリュームは少ない。

NCSA(生産量規模:約23%)



北米は
・消費地
・ブランドオーナーも多いが、中南米は生産地が多いため比率ではアナログ生産が多い。

テキスタイル市場の生産現場ではデジタル化への検討材料として2つの課題が考えられる。
「eco」 「system」
 ⇒生産現場ごとの課題に対して提案が求められる



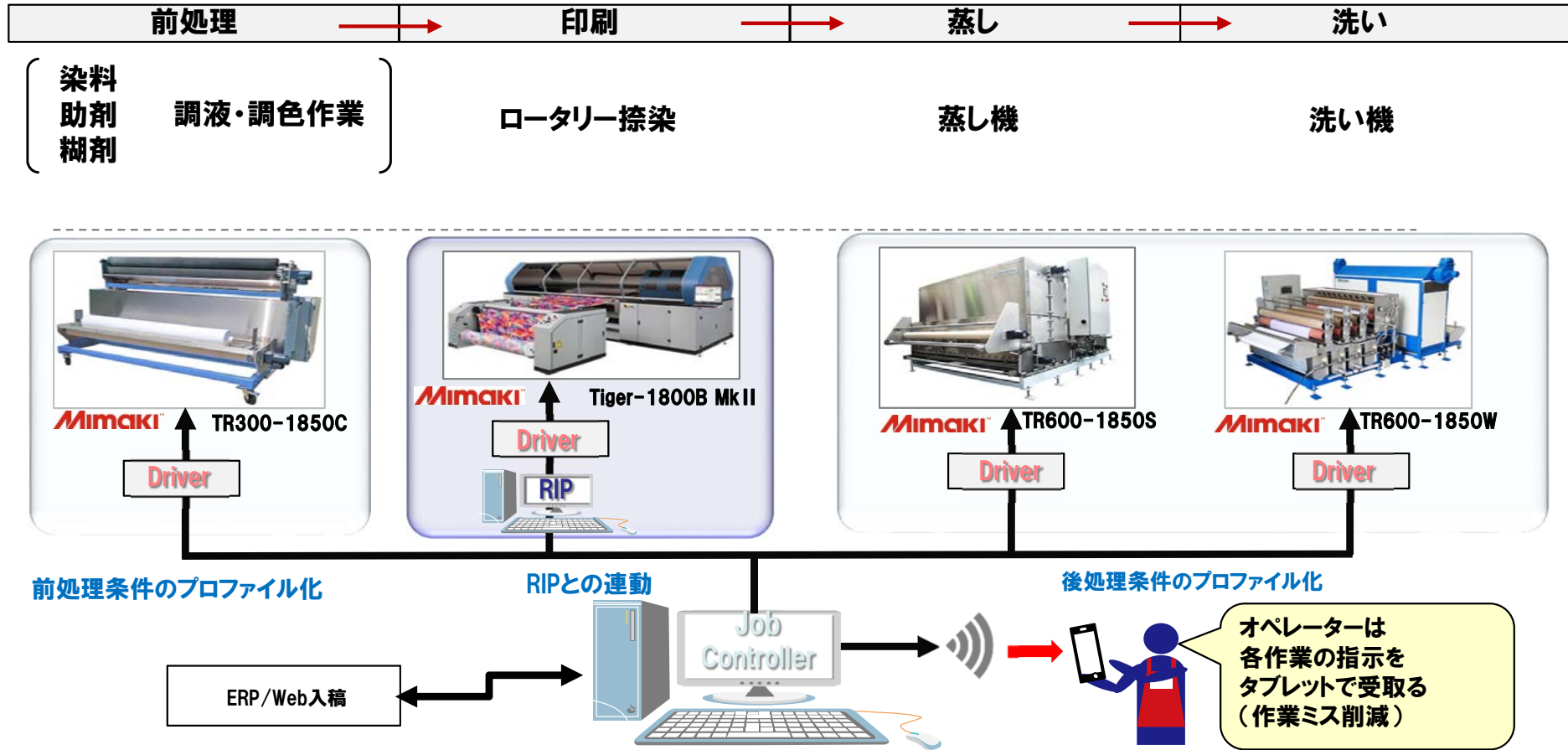
「Source: WTiN Conference in Japan (2018.Sep)」を基に当社で2018年時点を想定

7-3. 成長戦略/生産地

生産地戦略:ローコスト安定稼働システム提案

従来(アナログ)

ミマキのシステム



- 提案システムの特長**
- ①版レスなどによる工程短縮
 - ②色合わせ工程のシステム化
 - ③作業者の熟練されたノウハウが不要
 - ④水の使用量や消費電力が少ないなどエコ

7-4. 成長戦略/消費地

消費地戦略: ネットからの注文を、オンデマンド生産できるソリューションを提案

ネットで注文

在庫から手配

出荷



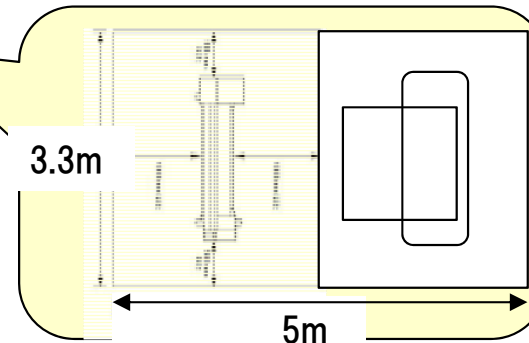
今まで



ミマキの提案

印刷 | 熱転写 | 裁断 | 縫製

水を使用せず次の工程へ

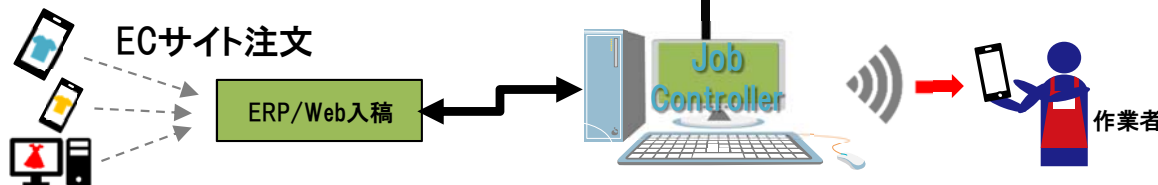


店舗でも作業できる最小スペース設備

ミマキのデジタルマイ
クロファクトリー

水性昇華
インク
搭載システム
(ポリエステル)

※紙転写



提案システムの特長

- ① 版レスなどによる工程短縮
- ② 色合わせ工程のシステム化
- ③ 無水
- ④ 在庫レス

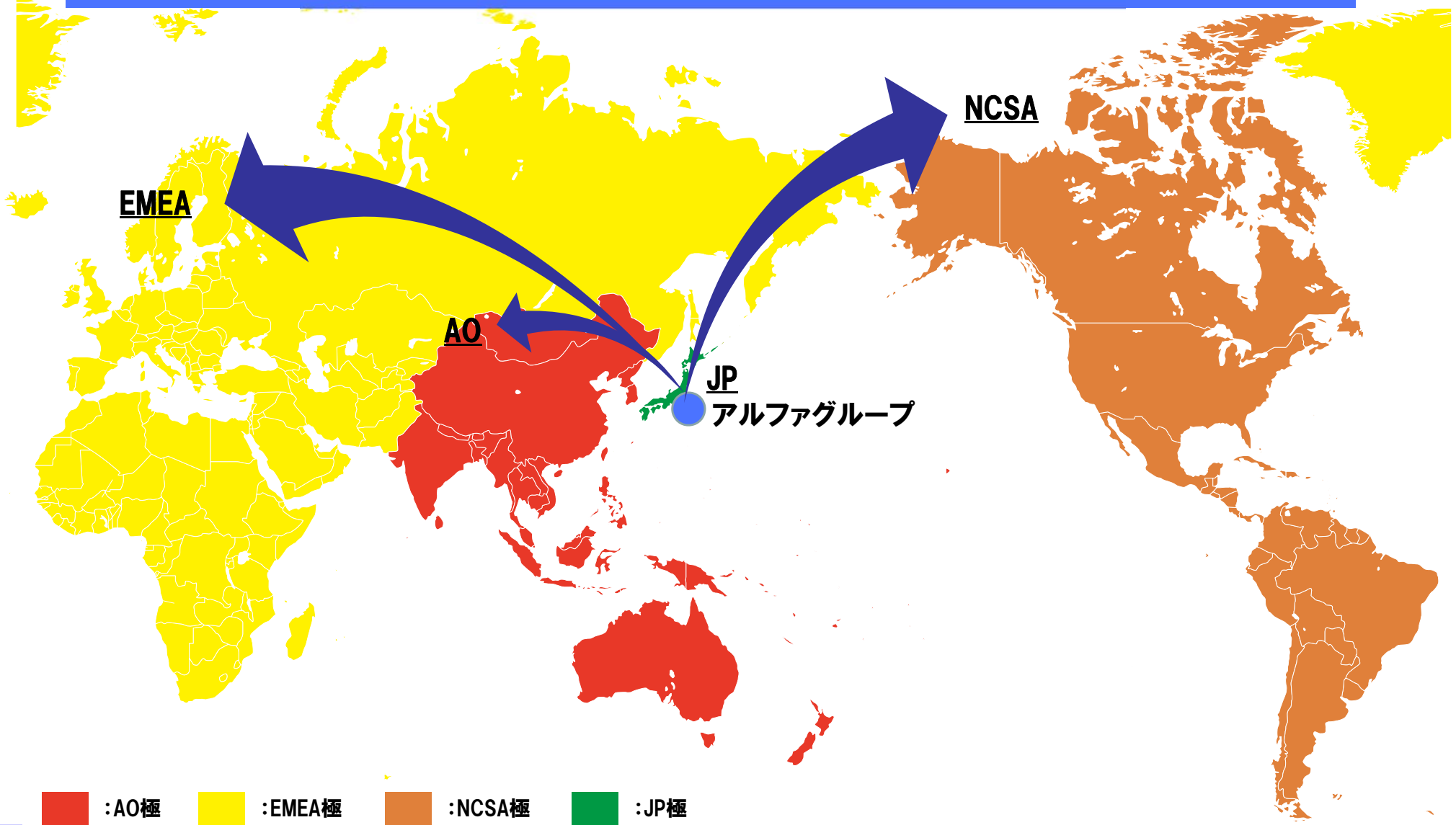


◆FA事業について



8. アルファグループのグローバル販売網

製品のグローバルネットワークを構築



9. エリア別の重点施策

- 国内 / 中長期で年平均**5~10%程度**の増収見込み
 - ① 業務用IJPのソリューションプロバイダ
 - ② サービスによる競合との差別化
 - ③ ミニ展戦略のさらなる徹底
- 北中南米 / 中長期で年平均**10%程度**（現地通貨ベース）の増収見込み
 - ① 販売チャネルの増強、地場販社の増加、事務機販社の取り込み
 - ② サービス・営業人員のレベルアップ
 - ③ ミニ展戦略の徹底
- 欧州・中東・アフリカ / 中長期で年平均**10%程度**（現地通貨ベース）の増収見込み
 - ① フランス、ベネルクスの販売チャネル改革
 - ② サービス・営業人員のレベルアップ
 - ③ インク工場の本格運用
- アジア・オセアニア / 中長期で年平均**10%程度**（現地通貨ベース）の増収見込み
 - ① 中国、インドにおける販売体制の再構築
 - ② ミニ展戦略の徹底
 - ③ 引き合い管理、プロセス管理の徹底

❖ 参考資料

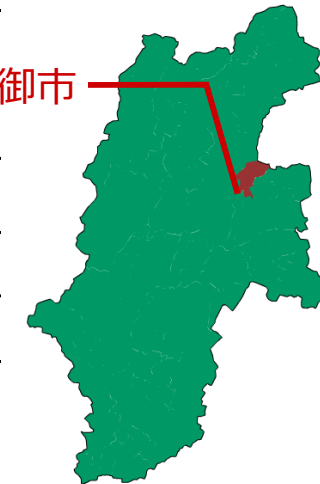


プロフィール



設立	1975年8月
資本金	4,357百万円
本社	長野県東御市滋野乙2182-3
代表者	代表取締役会長 池田 明 / 代表取締役社長 池田 和明
従業員数	連結：1,984名 / 単体：809名 * 2019年3月末現在
グループ会社	<p>◆産業用インクジェットプリンタ関連 (計20社) * 2019年4月1日現在</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売関連：13社 <ul style="list-style-type: none"> 欧州：ミマキEUROPE(オランダ) *、ミマキドイツ、ミマキEURASIA(トルコ)、ミマキBompan(イタリア) 北米、中南米：ミマキUSA、ミマキブラジル アジア・オセアニア：上海御牧、ミマキインドネシア、ミマキシンガポール、ミマキオーストラリア、ミマキインド、台湾御牧*、ミマキ(タイランド) (*製造事業も展開) ・開発、製造関連：7社 <ul style="list-style-type: none"> 国内：(株)ミマキプレジジョン 中国：浙江御牧、平湖御牧 欧州：ミマキEUROPE、ミマキLM(イタリア)、ミマキロシア 台湾：台湾御牧 ・プリントサービス関連：2社 <ul style="list-style-type: none"> 国内：(株)グラフィッククリエーション、(株)楽日 <p>◆アルファードesignグループ (計6社)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発、製造関連：2社 <ul style="list-style-type: none"> 国内：アルファードesign(株)*、(株)アルファードシステムズ* (*販売も行う) ・販売関連：3社 <ul style="list-style-type: none"> 中国：大連阿爾法設計有限公司、阿爾法自動化技術有限公司、上海分公司 ・金属加工関連：1社 <ul style="list-style-type: none"> 国内：(株)砺波製作所
上場市場	東京証券取引所 市場第一部 / 証券コード 6638
発行済株式総数	32,040,000株 (単元株 = 100株) * 2019年3月末現在

長野県東御市



*印は
各1社としてカウント

SG市場（Sign Graphics/広告・看板）

インクジェットプリンタ



カッティングプロッタ



ソフトウェア

- ◆ Raster Link 6
- ◆ Fine Cut 8
- ◆ Simple Studio
- ◆ Simple POP

SG市場（Sign Graphics）

街を彩るビジネスシーンでの活用事例



SG市場：屋外広告



4層看板
(昼のイメージ)



電飾看板



4層看板
(夜のイメージ)

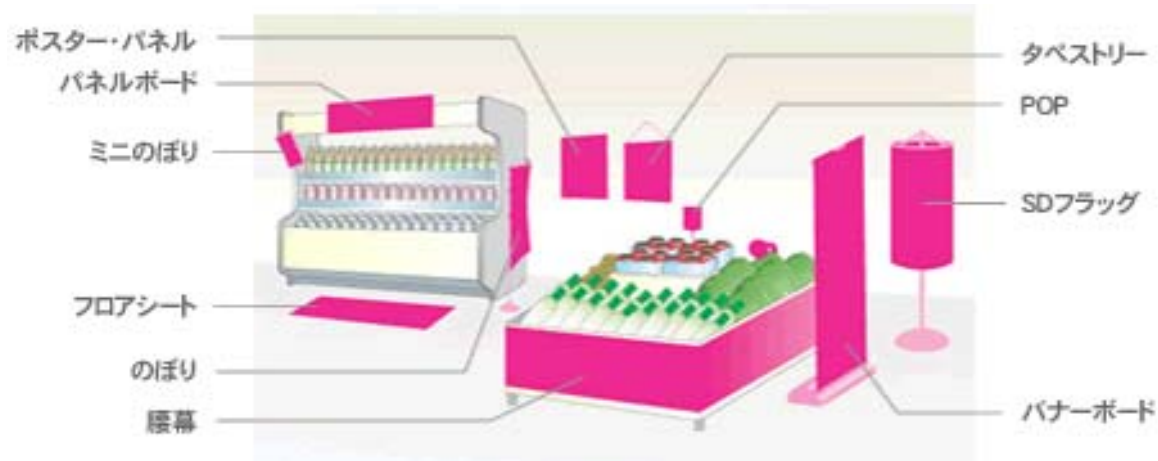


リットサイネージ

SG市場：屋外広告



SG市場：屋内広告（POP）



IP市場 (Industrial Products / 工業製品・小物類)



フラットベッドインクジェットプリンタ



UJF-6042 MkII



UJF-3042 MkII



UJF-7151 plus



JFX200-2531



JFX200-2513 EX



JFX500-2131

彫刻機 / モデリングマシン



◆ **ME-IIシリーズ**



◆ **NC-5K**

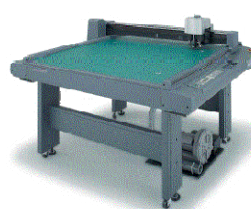
フラットベッドカッティングプロッタ



CF22-1225



◆ **CF3シリーズ**



◆ **CF2シリーズ**



◆ **CFL-605RT**

ソフトウェア

- ◆ Raster Link 6
- ◆ CAM Link
- ◆ Fine Cut 8



IP市場（Industrial Products）

工業製品やノベルティ等での活用事例

ボールペン



メジャー



カード



スマートフォンケース



IP市場：パッケージ、小物類



IP市場：時計、電化製品



Mimaki



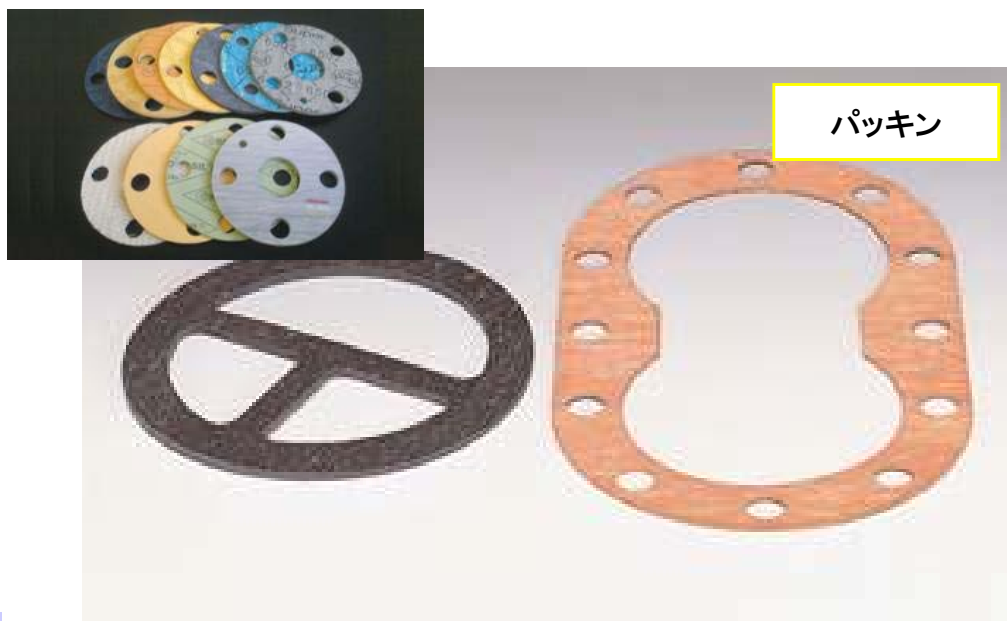
IP市場：工業用途



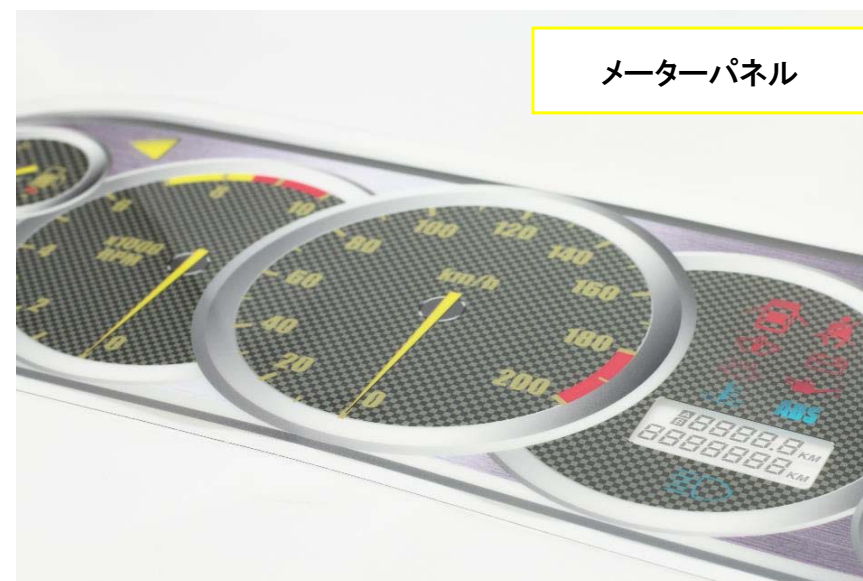
メンブレンスイッチ



ブレーキ



パッキン



メーターパネル

IP市場:付加価値プリント

2.5Dプリント



アイキャッチの高い文字



触ってみたいくなるようなテクスチャ

2.5Dプリント



油絵の具の盛りを表現

シルバーインク



TA市場（Textile & Apparel/布地・衣料品）

インクジェットプリンタ



Tx300P-1800B



Tx500P-3200DS



Tx500-1800B

TS30-1300



Tx300P-1800



TS5500P-3200



Tx500-1800DS



Tx2-1600



TS300P-1800



TS5500-1800



TS55-1800



Tiger-1800B MkII

プリンタカッター/型紙カッティングプロッタ

◆APC-130



ソフトウェア

◆Raster Link 6

◆Tx Link3

TA市場 (Textile & Apparel): ファッションア パレル

裁断・縫製加工前の生地や既製服での活用事例



TA市場：ソフトサイン



TA市場：インテリアファブリック



TA市場:ユニフォーム



本資料に関するお問合せ先

株式会社 **ミマキエンジニアリング**

IR広報部

TEL(本社) 0268(80)0058

TEL(東京) 03(6362)4290

E-mail mimaki-ir@mimaki.com



〔本資料お取り扱い上のご注意〕

本資料は、株式会社ミマキエンジニアリング(以下、当社)を理解いただくため、当社が作成したもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。